

## ガザで広がる「飢饉の最悪のシナリオ」

「統合フェーズ食料安全保障分類」(IPC)

Common Dreams 2025年7月29日

<https://www.commondreams.org/news/ipc-and-famine>

国連専門家は言う。「完全に人為的な飢饉だ。飢饉の閾値に達しており、子どもたちを含め、戦争で荒廃したガザ全体に飢餓と栄養失調が広がっている」



2歳のパレスチナ人イエゼン・アブ・フルは、2025年7月24日、ガザの難民収容所で母親といる。(Julia Conley 撮影)

“飢餓と栄養失調に関する権威ある調査機関”(IPC) が発表したガザに関する最新の警告は、イスラエルがほぼすべての人道支援をいまだに遮断し包囲しちえるガザ地区で起こるかもしれない事態に対する警告ではなく、すでに進行している「最悪のシナリオ」に対する警告である。

「ガザ地区では現在、飢饉が進行している」と、食料安全保障のレベルを1から5までの5段階でランク付けしている「統合フェーズ食料安全保障分類」(IPC) は7月29日の分析で述べている。

(注) 統合フェーズ食料安全保障分類 (Integrated Phase Food Security Classification system) は、国連世界食糧計画 (WFP) と協調し、食糧不安と栄養不良の深刻さを分類する機関。国際的に認められた科学的基準に従って、飢餓の指標である「総合的食料安全保障レベル分類をおこなう。5度は最悪の部類である

IPC はすでに5月の分析で、9月までにガザの50万人のパレスチナ人がフェーズ5(「極度の食糧不足」と定義される破局)に達すると予測している。それ以来、イスラエルの砲撃と地上作戦は激化し、ガザ地区全域で人々の食糧へのアクセスは「驚くほど不安定で極めて危険」な状態が続いており、1,000人以上が“食糧や人道援助にアクセスしようとして”死亡している、とIPCは述べている。

IPCによれば、5月から7月にかけて、ガザでは極度の飢餓に直面している世帯の割合が倍増しており、飢饉のための食料消費量の基準値(飢餓ライン)は「ガザ地区のほとんどの地域ですでに過ぎている」という。ガザの3人に1人が、何日も食物を摂取できない状態が続いている。

ザ保健省によると、少なくとも147人が餓死した。

国際救済委員会(IRC)は、7月29日のIPC報告書についてこう述べた。

「IRCや人道支援団体が以前から警告してきたことを裏付ける、壊滅的な、しかし予測可能な報告書である。イスラエルによる援助制限は飢饉の条件を作り出し、大量死を防ぐ窓は急速に閉ざされつつある。20,000人以上の子どもたちが急性栄養失調の治療のために保健センターに収容され、3,000人以上が重度の栄養失調に直面している」

(注)\* International Rescue Committee (IRC) は、紛争や災害で壊滅的な打撃を受けた人々の健康、安全、教育、福祉、権利を回復させることを目的とする慈善団体。

最近の IPC 報告によれば、7月17日以来、5歳未満の子どもが少なくとも16人餓死している。これは、飢餓に関連した死者の「急激な増加」を示しており、イスラエルの封鎖が終了し、人道援助の配給が大幅に増加しない限り、その勢いは衰えそうにない。

国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）のフィリップ・ラザリーニ總監はつぎのように述べている。

「世界の主要な専門家によれば、飢饉という最悪のシナリオが今、ガザで起こっている。これは完全に人為的な飢饉だ。飢饉はすでに餓死の閾値に達し、子どもたちを含め、戦争で荒廃した飛び地全体に飢餓と栄養失調が広がっている。ここ数週間だけでも、100人以上が飢餓のために亡くなっている。この大惨事を覆す唯一の方法は、大規模な援助をガザに殺到させることしかない」

住民の基本的なニーズを満たすためには、野菜や肉などの生鮮食品を除いた主食が推定6万2000トンが必要だ。それだけの量が、毎月ガザに入る必要がある。5月と6月には、19,900トンから37,800トンの食料しか入ってこなかった。これには、米国とイスラエルが支援するガザ人道基金から提供された食料も含まれている。イスラエル兵は、「援助にアクセスしようとするパレスチナ市民に発砲するよう指示された」と報告している。

国連食糧農業機関（FAO）のク・ドンユ事務局長は述べている。

「人々が飢えているのは、食糧が手に入らないからではなく、アクセスが遮断され、現地の農業食糧システムが崩壊し、家族が最も基本的な生計すら維持できなくなっているからだ。安全で持続的な人道的アクセスと、現地の食糧生産と生計を回復するための緊急支援が必要だ。食料を得る権利は基本的人権なのだ」。

ここ数日、飢餓に苦しむパレスチナ人の姿に国際的な怒りが高まるなか、アメリカの企業メディアや民主党政権でさえも、イスラエルによる人道支援の妨害

に対してついに声を上げた。イスラエルは戦闘を一時停止し、食料の空輸を許可した。しかし援助団体は、「必要な援助にはほど遠い。これはグロテスクな気晴らしだ」と非難している。

オックスファム（英国の海外支援団体）のパレスチナ占領地における政策責任者であるブシュラ・ハリディは言う。

「イスラエルの大量虐殺は、ガザを本格的な人間的大惨事の最終段階に追い込んだ。想像を絶する規模での人間の死を防ぐには、エアドロップやわずかな援助のための短い休止では到底不十分だ。即時かつ無条件の停戦を実現し、イスラエルの包囲網を解き、人道援助がガザ全域に自由かつ安全に行き渡るようにするためには、緊急の力強い外交と制限措置が必要だ」

コモン・ドリームスが7月28日に報じたように、ドナルド・トランプ大統領やマイク・ジョンソン下院議長（共和党）を含むアメリカの共和党指導者たちは、IPCの報告書の新しいデータに基づいて行動する兆しを見せていない。両者とも、イスラエルのガザ封鎖に対する国際的非難を退け、パレスチナ人の飢餓の責任はハマスにあるという論破された主張を繰り返している。

米国は、「人道支援を妨害する国には軍事援助を送れない」という自国の法律があるにもかかわらず、イスラエル国防軍への支援を続けている。

ハリディ氏は、IPCの新たな警告として、こう述べた。

「イスラエルの殺人的な包囲網によって引き起こされる飢饉が到来した。我々は国際社会に対し、これまでは不可能であった明確な決意を持って行動するよう、最終的に喚起しなければならない」。

「世界の指導者たちは、イスラエルの抹殺作戦を阻止するためには、あまりに無能である。さまざまに分裂し、あるいは加害者に加担し、あるいは無関心である」。

「パレスチナの人々を守れなかった彼らに、もう言い訳するような中身はない。イスラエルによるガザへの大量虐殺を終わらせることは、我々の世界秩序だけでなく、我々の集団としての人間性が試されることなのだ」

(朗)

【翻訳チェック 鈴木頌】